

第3134回
例会本日の
プログラム

アイフレイルと目に良い食事や運動について

(株)生存環境科学研究所 営業本部 杉山 陸 氏

新会員卓話 藤井真哉 会員

本日はこのような貴重な卓話発表の機会をいただき、誠にありがとうございます。昨年10月に入会いたしました、藤井真哉と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

1. 株式会社内田洋行について

創業は1910年、中国の大連にて、当時満鉄の社員であった宗主・内田小太郎が、主に測量機器を取り扱う御用商として独立したことに始まります。「洋行」とは中国語で「外国人の会社」を意味し、日本人である内田が創業したことからこの名がつけました。1945年の終戦により中国での権益を失い、国内に引き上げてきました。

戦後は教育振興のための科学教材販売から始まり、マジックインキ、設計製図器械、純国産初のオフィスコンピュータ、事務用机、教育現場のIT化など、「公共」「オフィス」「情報」の3分野における専門性とICTおよび環境構築の融合により、独自性のある『働く場』『学ぶ場』の提案を行っております。

2. 北海道支店の取り組み

特に力を入れているのが国産材の利活用です。企業・官公庁・自治体などに国産木材の活用が進む中、空間構築のパイオニアとして、自然素材を活用した豊富な実績を有しております。「見て安らげる」「環境に配慮する」オフィス空間において「木」を使うメリットは多く、独自の木材マネジメントシステムにより、地場産業の活性化や人の絆の再構築に繋げ、地域へ還元しています。

また、サッポロファクトリー内のユビキタス協創広場U-calaでは、ICT技術とデザインのノウハウを駆使し、産官学連携など企業の枠を超えた「協創の場」を提供しています。地元の専門学校との協業により毎年「木育ひろば」を開催しており、地域の子供たちの笑顔あふれるイベントとなっています。今年も10月25日に予定しております。

3. 札幌の都市再開発

1972年の札幌五輪以降、都市化が進んだ札幌は、現在大規模な再開発が進行中です。全国随一の再エネポテンシャルを活かした脱炭素社会の実現に向けて、新しい都市づくりが進められています。最近の事例として、北海道新聞社様の本社移転に際し、

オフィス内設計やデザインを担当させていただきました。

4. 自己紹介

藤井真哉

(ふじいまさや)

1965年8月29日

生まれ(来週還暦)

埼玉県浦和市出身

東京本社→茨城→

仙台→札幌と転勤し、

2023年8月に札幌に参りました。

家族:妻(札幌在住)、娘(埼玉で金融機関勤務)

5. 趣味

旅行、ウォーキング、お酒、美味しいもの、SNSなど多趣味ですが、浦和レッズのサポーター、フットサル、マラソン、ウォーキング、ゴルフなど、どれも「下手の横好き」で楽しんでおります。

6. 音楽活動と復興支援

今年3月には、のと復興音楽ツアーを会社で協賛したことから、地元の吹奏楽団と会場の皆さんとで「ふるさと」の全員合唱の場で指揮をさせていただきました。東日本大震災を仙台で経験した者として、今後とも何かお役に立てればとの思いを新たにいたしました。

7. モットーと結び

私のモットー:

- Positive Thinking(自らがやる)
- Good Team Work(協力する)
- Happy Working Environment(明るくする)
- Be Fair(何事にもフェア)

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はご清聴いただき、誠にありがとうございました。



■本日のロータリーソング

奉仕の理想

2025-2026年度

国際ロータリー会長のメッセージ

国際ロータリー会長:フランチェスコ・アレツツォ

よいことの
ために
手を取りあおう